

温泉分析書

(別記第9号様式)

1 申請者住所氏名		札幌市南区定山渓温泉東西3丁目32番地		新研伏第 8-31号温 1819号					
2 源泉名および湧出地		定山渓温泉(源泉名 鹿の湯 33号泉 札幌市南区定山渓温泉西3丁目32番地)		株式会社 ホテル鹿の湯 代表取締役 金川 一 男					
3 湧出地における調査および試験成績									
(f) 調査および試験者 : 北海道立衛生研究所 技術吏員 内野 栄 治									
(g) 調査および試験年月日 : 平成 15 年 10 月 30 日									
(h) 源泉 温 : 69.7℃ (気温: 11.℃) (i) 湧出量 : ℓ/min (自然湧出)									
(j) 知覚的試験 : 無色透明、微弱カン味、無臭									
(k) pH 値 : 6.9 (l) ラドン (Ra): 0.117 マツヘ単位/kg									
4 試験室における試験成績									
(f) 試 験 者 : 北海道立衛生研究所 技術吏員 内野 栄 治									
(g) 分析終了の年月日 : 平成 15 年 11 月 17 日									
(h) 知覚的試験 : 無色透明、微弱カン味、無臭 (採水後4時間)									
(i) 密 度 : 1.0009 (20/4℃)									
(j) pH 値 : 6.91									
(k) 蒸発残留物 3.203 g/kg (110℃)									
5 試料1kg中の成分 : 分量および組成									
(f) 陽イオン		ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)	(g) 陰イオン	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)	
水素イオン	H ⁺				フッ素イオン	F ⁻	0.9	0.05	0.10
ナトリウムイオン	Na ⁺	877.3	38.16	77.33	塩素イオン	Cl ⁻	1484.	41.86	85.67
カリウムイオン	K ⁺	172.7	4.42	8.96	水酸イオン	OH ⁻			
アンモニウムイオン	NH ₄ ⁺	1.4	0.08	0.16	硫化水素イオン	HS ⁻	0.0	0.00	0.00
マグネシウムイオン	Mg ²⁺	9.7	0.80	1.62	チオ硫酸イオン	S ₂ O ₃ ²⁻	0.3	0.01	0.02
カルシウムイオン	Ca ²⁺	117.0	5.84	11.83	硫酸イオン	SO ₄ ²⁻	85.6	1.78	3.64
アルミニウムイオン	Al ³⁺				炭酸水素イオン	HCO ₃ ⁻	310.9	5.10	10.44
マンガンイオン	Mn ²⁺	1.0	0.04	0.08	炭酸イオン	CO ₃ ²⁻	0.2	0.01	0.02
第一鉄イオン	Fe ²⁺	0.2	0.01	0.02	リン酸イオン	HPO ₄ ²⁻	2.6	0.05	0.10
第二鉄イオン	Fe ³⁺								
計		1179.	49.35	100.	計	1885.	48.86	100.	
f) 遊離成分									
非溶解成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)	非溶解成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)		
メタ亜酸	H ₂ SiO ₄	118.8	1.52	メタ亜ヒ酸	HAsO ₃	3.0	0.03		
メタ亜酸	HBO ₃	134.2	3.06	計	256.0	4.61			
溶解物質(ガス性のものを除く)		3.320 g/kg							
溶解ガス成分		ミリグラム (mg)	ミリモル (mmol)						
遊離二酸化炭素	CO ₂	96.6	2.19						
遊離硫化水素	H ₂ S	0.0	0.00						
計		96.6	2.19						
成分総計		3.417 g/kg							
h) その他微量成分		アルミニウム: 検出せず、鉛: 検出せず、亜鉛: 検出せず カドミウム: 検出せず、総水銀: 0.02μg/kg、腐植質: 検出せず							
6 泉 質 :		ナトリウム-塩化物泉 (中性低張性高温泉)							
7 禁 忌 症、適 応 症 :		「温泉分析書別表」中5に記載する。							

禁忌症・適応症

療養泉分類の泉質に基ずく禁忌症・適応症等は次のとおりです。

1. 禁忌症 (浴用)

急性疾患 (特に熱のある場合)、悪性腫瘍、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、活動性の結核、高度の貧血、その他一般に病勢進行中の疾患、妊娠中 (特に初期と末期)。

2. 適応症 (浴用)

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこばり、うちみ、くじき、痔疾、慢性消化器病、慢性皮膚病、病後回復期、疲労回復、健康増進、虚弱児童、慢性婦人病、冷え症、きりきず、やけど、。

3. 入浴の方法及び注意

- (1) 熱い温泉に急に入ると、めまい等を起こすことがあるので充分注意すること。
- (2) 入浴時間は入浴温度により異なるが、始めは3分ないし10分位としなれるにしたがって延長してもよい。
- (3) 入浴中は運動浴の場合は別として、一般には安静を守ること。
- (4) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守ること。
- (5) 高度の動脈硬化症、高血圧症及び心臓病の患者は原則として、高温浴 (42℃以上) を禁忌とする。
- (6) 入浴後は身体に付着した温泉成分を水で洗い流さないのがよい。但し「湯ただれ」を起こし易い人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分をふき取るのがよい。
- (7) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。
- (8) 飲酒しての入浴は特に注意すること。

◎ 温泉療養に際しては、医師の指導を受けることが望ましい。

4. 飲用 この温泉は飲用しないで下さい。

5. 適応症・禁忌症決定年月日 平成 15 年 11 月 18 日

6. 決定者 北海道保健福祉部長

温泉の温度

施設名 ホテル鹿の湯 『本 館』

平成19年11月18日

登録分取機関 登録番号 第1号

北海道札幌市北区北19条西12丁目

北海道立衛生研究所



瑞雲（男性用大浴場）

42℃